

都工賛歌について

都工賛歌は昭和 59 年 10 月に創立 40 周年記念事業の一環として、当時の在校生並びに卒業生から募集し、選曲された作品である。

詞は当時の電気科 1 年藤代信明君の作品であり、曲は昭和 26 年土木科卒業生椎屋廣二氏の作品である。

都工賛歌は、応援歌的ならびに行進曲的要素に優れ、また演奏においては抒情的要素の備わった作品であるので、校歌とともに母校を讃える歌として、日常の教育活動のすべての場において愛唱してほしい賛歌である。

都 工 賛 歌

作詞 藤代信明
作曲 椎屋廣二

♩ = 118 Moderato

た かく そびえる きりしーまーに われ
ら はまな ぶ そう ー だ ー い さ
こ ころ おーおきく おおーらーかーに ゆう
あ い は ぐ く む と ころ せ い ほ ぼ
た け よ ー ー ー は ぼ た け よ ー ー ー み
ら い に かけ る ー わ ころ ど ー よ

都 工 賛 歌

作詞 藤代信明
作曲 椎屋廣二

一. 高くそびえる 霧島に

我らは学ぶ 壮大さ

心大きく おおらかに

友愛育む 都工生

はばたけよ はばたけよ

未来に賭ける 若人よ

二. 清く流れる 大淀に

我らは学ぶ 雄大さ

心豊か すこやかに

知と技育む 都工生

飛躍せよ 飛躍せよ

希望に燃える 若人よ

三. 霧湧きあがる 五十市に

我らは学ぶ 我が道を

心堅く 一筋に

闘魂育む 都工生

輝けよ 輝けよ

栄冠めざす 若人よ